

まこと 三田村 信 山岳図絵展

～岩手山・八幡平周辺の山々～

2023・11/2 (木)～2024・2/25 (日)

岩手山麓で暮らし、長らく「八幡平散策ガイド」を務めてきた故・三田村信さん。独自の図絵を製作して参加者に配り、案内してこられました。図絵は、鳥観図的に地形の特徴が描かれ、季節の花々や名所などが細やかに描き込まれ、その山の概要が一目でわかる素晴らしいものでした。これまで一般には知られることがなかった三田村さんの残された図絵の中から、岩手山・八幡平周辺の山々を選び、展示紹介いたします。山岳図絵から浮かび上がる故郷の自然をお楽しみください。



【三田村信プロフィール】八幡平自然散策ガイド。自然観察指導員。昭和9年(1934年)旧・西根町田頭生まれ。盛岡中学校(現・盛岡第一高等学校)卒業、長らく特別支援学級の教諭を務めた。退職してからは、八幡平をはじめ東北各地の自然ガイドとして活躍した。平成30年(2018年)没。享年84。

冬・早春の七滝ツアー ご予約・お問い合わせ 森林ふれあい学習館 ☎0195-78-2092

七滝氷瀑スノーシューツアー

2024年1月28日(日)
2月10日(土)

8:30～13:00

【定員】15名【参加費】2,000円(温泉券付)

※スノーシューレンタル別途1,000円(ダブルストック付)

厳冬期、迫力ある氷瀑となる七滝。動物の足跡や木々の冬芽などを観察しながら七滝を目指します。初めての方でもスノーシューの履き方歩き方からお教えしますので安心です。



七滝氷瀑 ナイトツアー

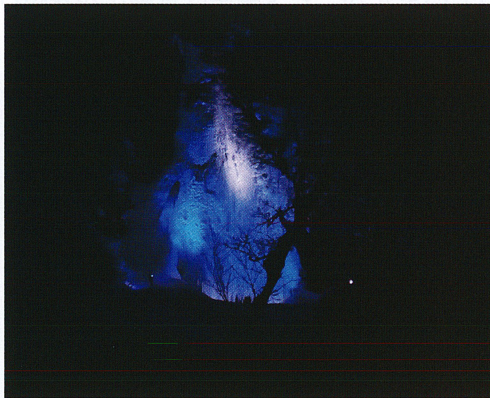
2024年2月3日(土)

15:30～18:30

【定員】15名【参加費】3,500円(温泉券付)

※スノーシューレンタル別途1,000円(ダブルストック付)

夜の七滝氷瀑や森のなかには、日中とは全く異なる表情をしています。夕暮れの岩手山麓の森を月明かりを頼りに歩いて七滝へ。いつまでも心に残る真冬のとっておきの夜です。



早春の七滝・巨木スノーシューツアー

2024年3月10日(日)

8:30～15:00

【定員】15名【参加費】2,500円(温泉券付)

※スノーシューレンタル別途1,000円(ダブルストック付)

春が近づいてくると、積もっていた雪が溶けて雪がなくなり、七滝を堪能したあと、すこし足を伸ばして、無雪期は笹藪で近づくことが困難な場所のブナやミズナラの巨木や大木に会いに行きます。



【プライベートガイドも承ります】プライベートでゆっくりと、岩手山麓の自然を心ゆくまで満喫できます。

イベント以外の日、1週間前までの予約制。ご家族やグループの利用など、人数が揃えばお得です。団体様もお問い合わせください。スノーシューレンタル別途1,000円(ダブルストック付)。キャンセルされる場合は1週間前を過ぎるとキャンセル料が発生します。

県民の森スノーシュー散策 約90分 7,000円(こちらの料金で最大5名までご案内)

七滝氷瀑スノーシューツアー 約3～4時間 10,000円(こちらの料金で最大5名までご案内)

七滝氷瀑・巨木スノーシューツアー 約4～5時間 15,000円(こちらの料金で最大5名までご案内)

木材工芸センター「木工教室」 ご予約・お問い合わせ 木材工芸センター☎0195-78-4115

踏み台 2024年1月20日(土)

5,000円 定員5名

場所: 木材工芸センター 着色料: 別途1,000円
時間: 9:00～15:30 持ち物: 昼食・ゴム手袋等

岩手県森林公園

県民の森だより

2024.

1

Vol.216

発行 岩手県県民の森
(公益社団法人
岩手県緑化推進委員会)

【毎月5日発行】



2023年1月19日 みんなの広場から望む岩手山

冬の県民の森は雪景色。八幡平ならではの雪質を踏みしめながら、岩手山や八幡平の山々の荘厳な風景が味わえます。雪遊びやアニマルトラッキングなど冬ならではの楽しみがいっぱい。2024年も県民の森へどうぞ遊びにいらしてください。

岩手県県民の森 管理事務所

※イベント等の最新情報はHP等でご確認ください。
※県民の森園内での植物採取は森林法により禁じられています。

〒028-7302

岩手県八幡平市松尾寄木 1-515-5 森林ふれあい学習館フォレストアイ

TEL. 0195-78-2092 FAX. 0195-71-1778

開館時間: 9時～16時 火曜休館(祝日の場合翌日振替)

(旧 Twitter)
@forest_iwate



1月。県民の森は雪景色。

何度か寒波がやってきて積雪量がどんどん増してきます。深雪になってもスノーシューを履くと、初めての方でも快適に歩いて、冬の自然を楽しめます。学習館ではレンタルもありますのでご利用ください。



【シラカンバ並木】2023/1/15

「みんなの広場」のシラカンバ並木は枝に雪が降り積もると真っ白になり、白い樹皮とともに美しい風景をみせてくれます。



【ツタウルシの実】2023/1/19

淡褐色で毛に覆われているのが外果皮。外果皮が落ちると縦縞のある美しい中果皮が現れます。

七滝氷瀑の成長を味わう



2023/1/1

七滝氷瀑は1月に大きく成長します。訪れるたびに異なる美しさを味わうことができます。



2023/1/5

左右の氷の真ん中部分が成長して繋がります。ドレスを着た貴婦人のように見える時期です。



2023/1/27

表面が全面氷結しました。ブルーアイスが美しく、迫力ある姿に成長しました。

雪だるまを楽しむ



【七滝登山口】2023/1/16

来園者が雪だるまをつくって下さることが増え、様々な場所で可愛い姿が見られます。



【指導標の上に】2023/1/27

精巧な小鳥が多数出現してビックリしましたが、雪だるま製造機でつくった小鳥だそうです。



【マンダの木（七滝登山道）】2023/1/23

名物の樹洞の雪だるま。シーズン終盤にはどんどん増えて10体以上いることもあります。

鳥たちとの出会い



【ホシガラス】2023/1/16

無雪期は稜線あたりにいますが、冬は県民の森まで降りてきて松ぼっくりなどを食べています。



【アトリ】2023/1/8

シベリア方面からやってくる冬鳥。群れでアズキナシの実を次々と食べていました。

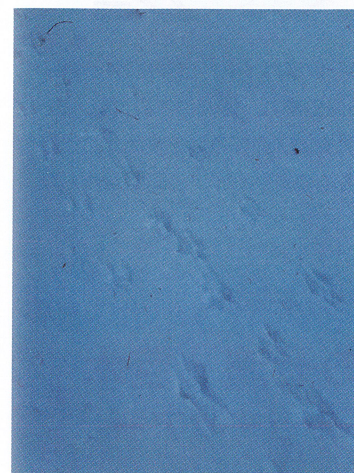
学習館では レンタルも あります



時間：9：00～16：00
スノーシュー1台 1,000円
(ダブルストック付・子供用も有)
ダブルストック 500円
ソリ1台 大500円・小100円
スノーチューブ 2時間 600円

アニマルトラッキングを楽しむ

冬は雪上に動物たちの足痕が残り、無雪期には気付かなかった動物たちの様子を垣間見ることができます。新鮮な足痕もあちこちで見かけるので、追いかけてみると、運が良ければ足痕の主に出会うことも。スノーシューを履いていればどこでも歩くことができるので、無雪期は笹藪で歩くことが困難な場所にも行ってみる事が出来ます。冬ならではの楽しみのひとつです。



【ニホンリス】後足痕長：約5～6cm

大きな後ろ足でジャンプ。松ぼっくりの木の下では食痕の「森のエビフライ」が拾えることもあります。



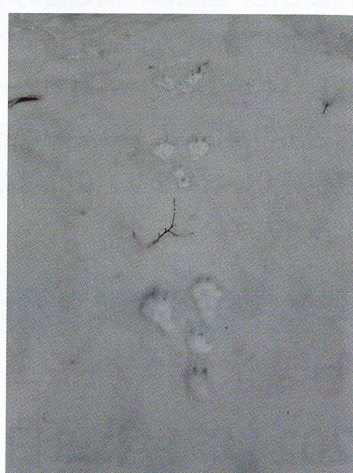
【テン】足痕長：約3～5cm

2つずつ並んだ足痕が特徴的。シャクトリムシのように走行することが多く、このような足痕が残ります。



【ホンドギツネ】足痕長：約4～5cm

左右の足痕がほぼ一直線に続きます。イヌに比べると胸幅が狭く、前足痕に後足を重ねて歩くためです。



【ノウサギ】後足痕長：約14cm

進行方向は上。大きいのが後ろ足。跳び箱を跳び越すようにジャンプして前進します。

【ニホンカモシカ】

足痕長(蹄)：約5～5.5cm

蹄が2つに分かれているので、すぐに分かります。ニホンジカと似ていますが、ニホンジカは県民の森ではまだ目撃されていません。歩くルートはほぼ決まっているようで、同じ場所で見かけます。低木のまわりに足痕がたくさん残っているときは、その木の冬芽などを食べていることが多く、枝の食痕で確認できます。

県民の森の植物 70 ツルシキミ (ミカン科 ミヤマシキミ属)

常緑低木。北海道や本州の日本海側の多雪地帯に自生し、冬は雪の下で過ごしています。積雪に耐えられるように茎の下部は地を這い、枝はしなやかで折れにくくなっています。雌雄異株。花は5～6月頃。雄花のほうが華やかに見えます。果実は最初は緑色、熟すと赤くなります。美味しそうに見えますが果実や全草にアルカロイドを含み、有毒です。同じ環境で見られる常緑低木のヒメモチ(モチノキ科)とよく似ていますが、ヒメモチは葉腋に花を付けて実が出来るので区別できます。県民の森ではAコースや七滝登山道で見られます。木々の落葉後の初冬や雪融けの春には、常緑の葉がよく目立って存在感抜群です。



【雄花】5/24



【雌花】5/18



【若い果実】8/19



【熟した果実】9/16



【左】ツルシキミ【右】ヒメモチ



【来春に芽吹く花芽】11/4